

パートナー研修会の内容

7月5日(土)

第1回

(オンライン開催)

「わたしたちのやまなしを知る

～多様な人々がともに暮らす地域づくりに向けて～

山梨県内には多様な言語・文化をもつ方が生活しています。多様な人々がともに暮らす地域づくりに向けて大切なことは何でしょうか。この回では、日本語学習者の背景にある社会状況を知るとともに、文化を理解することの意味や、多文化共生の捉え方について体験的に考えます。

金丸 巧(山梨学院大学グローバルラーニングセンター准教授)

7月12日(土)

第2回

(オンライン開催)

「多様な人とのコミュニケーションを考える

～待つ、聴く、やさしい日本語で対話する～

私たちの地域にきた様々な背景を持つ外国人の方とどのようにコミュニケーションをとったら「同じ市民」としてつながることができるでしょうか。ワークショップを通して「待つ・聴く」を体験し、外国人とどのように向き合い、耳を傾け、心地よく対話できるかを考えます。

中山 由佳(山梨学院大学グローバルラーニングセンター特任准教授)

「やさしい日本語」を知っていますか。多様な背景を持つ人々とのコミュニケーションに、今、「やさしい日本語」が活用されています。ふだん使っている日本語を「やさしい日本語」にかえるポイントを学びます。

小林 信子(ユニタス日本語学校非常勤講師、「入門やさしい日本語」認定アドバイザー)

7月13日(日)～教室開催期間中

第3回

(教室参加)

「日本語教室に参加してみよう」

日本語教室に参加する実践研修です。自己省察のため、教室で感じたことや考えたことをまとめます。日本語教室にはご自身の都合に合わせてご参加いただきます。日本語教室の日程等、詳細は第1回研修会で案内します。

10月11日(土)

第4回

(オンライン開催)

「地域日本語教室とパートナーの役割」

日本語教室に参加して考えたこと、感じたことについて皆さんで意見交換しましょう。教室に参加してうまれた疑問点も共有し、これからのよりよい教室づくりにつなげます。

1月10日(土)

第5回

(オンライン開催)

「多様な人々がともに暮らす地域づくりのために 私たちができること」

多様な人々がともに暮らす、多文化共生の地域づくりのためにできることは何でしょうか。最終回では、これまでの研修で考えてきたことを活かしながら、理想の地域像を目指して、私たちだからこそできるパートナー活動を一緒に考えます。

金丸 巧(山梨学院大学グローバルラーニングセンター准教授)

【注意事項】

研修内容の改善や文部科学省等への事業報告を目的として、研修の様子を録音・録画するとともに、研修内でのアンケートや振り返りデータは個人が特定されない形で山梨県及び文部科学省に提出します。また、録音・録画データを含め研修会において収集した情報については事業報告会等での発表に使用する可能性がありますので、ご理解、ご了承の上、ご参加くださいますようお願いいたします。